

テレメンタリー2014

「裏切りの復興支援隊 消えた12億円の行方」

第52回ギャラクシー賞奨励賞を受賞

HTBが311直後から旭川市のNPO「大雪りばあねっと。」による行方不明者捜索活動を取材し、事件の真相を追い続けたドキュメンタリー「テレメンタリー2014 裏切りの復興支援隊消えた12億円の行方」が、第52回ギャラクシー賞上期作品でギャラクシー奨励賞を受賞しました。

ギャラクシー賞は、放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために、1963年に創設された権威ある賞です。

【受賞番組】	テレメンタリー2014 裏切りの復興支援隊 消えた12億円の行方
【放送日時】	2014年7月5日(土) 25:05~25:35(北海道ローカル)
【ディレクター】	見張祐介(HTB)
【プロデューサー】	山田佳晴(HTB)

【番組内容】

「私、逮捕されるんでしょうか・・・」

自ら警察に電話した男はこの4時間後、猛烈なカメラのフラッシュを浴びる中、捜査員に連行されていった。逮捕されたのは、岡田栄悟(35)元代表。復興支援の事業費を横領した容疑だった。

元代表は潤沢な事業費で、最高級の備品も買い続けた。この事業の規約では50万円以上の物品は購入できないが、自ら立ち上げたリース会社から物品をリースする形で実質「購入」は続けられた。事業が破たんしたあと、こうした備品は次々と被災地から持ち出されていた。さらには、勤務実態のない親族らに給与を支払っていた疑いで再逮捕も…。逮捕直前の独占映像。突き止めた備品の行方。被災地を翻弄し続けた事件の闇を追った。